

図画工作科学習指導案

第2 図工室

4年2組 新居 奈津子

1. 題材名 「〇〇ジェットコースター」

2. 研究主題との関連

(1) 研究主題

子どもが主体的に発想・構想の能力を働かせる授業

(2) 教科の視点からめざす育てたい力

鑑賞を通して、自分や友だちのよさを活かしながら、発想・構想の能力を働かせ表したいものを創造的に探究する力

3. 子どもが積み重ねてきた学び

子どもたちが発想・構想の能力を働かせる姿は、題材との出会いの場や自分や友だちの作品を鑑賞することで見ることができた。

題材「ピカソをこえろ」は、パスでピカソの下絵の線をこえたり描きたしたりして絵に表す活動である。題材との出会いの場面では、ピカソが描いた形の不思議な絵を見せることにより、逆三角形の顔や、長方形の足を見つけ、目に見える形を見たまま描いていない形の面白さを見つけ出した。そうすることにより、子どもたちは、形の面白さに興味をもち、ピカソの下絵のまま絵に表すのではなく、模様をつけたり、線をこえたりしながら自分らしい発想・構想をして活動していく姿が見られた。

題材「新聞棒をつないでつないで」は、材料の硬さを活かしてつなぎ方を工夫してつくる造形遊びである。新聞棒を高くつなげようとしたグループが、三角形に組むことで頑丈になることに気づき高くつなぐことを楽しんでいた。それを途中鑑賞した子どもたちが、高くつなげるには、構造を頑丈にすればよいことに気づき作品に活かす姿が見られた。

これらの姿は、友だちの活動や作品のよさ、鑑賞を通して、発想・構想の能力を働かせ、学びを創り続けている姿だと捉えられる。このような学びを積み重ねて、本題材を行う。

4. 本題材で期待する学び

本題材は、紙の形や組み合わせ方を工夫して、発想・構想の能力を働かせながら、〇〇ジェットコースターをつくる活動である。

本題材では、自分があったらいいなと思うジェットコースターをイメージし、自分の表したいことに合わせて材料や用具を選び、表し方を工夫していく。そのために材料は、硬さのある工作用紙と形のつくりやすい画用紙を用意したり、大・小の大きさに切ったりしておくことで、子どもたちが自分のイメージを表すことができるようにする。さらに、題材との出会いの場面では、イメージを広げられるように、自分がジェットコースターに乗っている感覚になれる映像をみせ、ジェットコースターの面白さを感じられるようにする。そこから、どんなジェットコースターにすると自分や友だちが楽しめそうかと考え、アイデアスケッチにかくことで、より発想・構想の能力を働かせることができると考える。また、鑑賞の前には、子どもたちの顔写真をつけたペープサートを用いて、乗っている楽しさを感じながら作品を見れるようにする。そうすることで、友だちの活動や作品のよさを感じ取り、自分の作品に活かすことができるようにする。

5. 準備物

(子ども) 図工セット、小物入れ、30cmの定規

(教師) 両面テープ、セロハンテープ、カッターナイフ、カッター板、工作用紙、画用紙

6. 指導目標

○紙で、○○ジェットコースターをつくることを楽しんでいる。 (関心・意欲・態度)

○ ○○ジェットコースターを1人で考えたり、友だちと話し合ったりしながら、イメージを広げ、表したいことを思いつく。 (発想・構想の能力)

○自分が表したいことに合わせて、紙の形や折り方、切り方、つなぎ方などを工夫する。 (創造的な技能)

○自分や友だちの活動や作品のよさを感じ取り、自分の作品に活かす。 (鑑賞の能力)

7. 題材の評価の規準

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
題材の評価規準	紙で、○○ジェットコースターをつくることを楽しもうとしている。	○○ジェットコースターを1人で考えたり、友だちと話し合ったりしながら、イメージを広げ、表したいことを思いついでいる。	自分が表したいことに合わせて、紙の形や折り方、切り方、つなぎ方などを工夫している。	自分や友だちの活動や作品のよさを感じ取り、自分の作品に活かしている。
学習活動における具体的評価規準	① 自分があつたらいいと思うジェットコースターを、友だちと話し合いながら、イメージを広げようとしている。 ② イメージに合う形や組み合わせを考え、○○ジェットコースターをつくらうとしている。	① 自分のイメージに合う○○ジェットコースターの形を思いついている。 ② 友だちと話し合ったり、友だちの作品のよさを活かしたりしながら、イメージに合った形や組み合わせ方を思いついている。	① カッターナイフの安全な使い方を知り、表したいことに合わせて材料や用具を選び、紙の形や折り方、切り方、つなぎ方などを工夫している。 ② 自分の作品を鑑賞したり、イメージにより近づくように、つくることと試すことを繰り返したりしながら、紙の形や折り方、切り方、つなぎ方などを工夫している。	① 自分のがんばっているところを話したり、友だちが付箋に書いた見るポイントに注目しながら友だちの工夫しているところを見つけたりしている。 ② 自分の作品を客観的に見たり、友だちの活動や作品のよさに気づいたりし、それを自分の作品に活かしている。

8. 本題材の指導計画 (全5時間 本時1、2/5時間)

○第一次 活動の内容を知り、紙の形や組み合わせを工夫してつくる。(4時間・本時)

○第二次 作品を鑑賞し、本題材の活動を振り返る。(1時間)